（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひかりの芽		
○保護者評価実施期間	令和７年　１１月　１日	～	令和７年　１１月　３０日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）　２１名	（回答者数）	２１名
○従業者評価実施期間	令和７年　１１月　１日	～	令和７年　１１月　３０日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）　１７名	（回答者数）	１７名
○事業者向け自己評価表作成日	令和８年　2月　1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	十分な職員が配置されているため、個別のニーズに対応することができる。	取り組む活動内容や年齢によって部屋を分けることで、落ち着いて過ごすことができるように工夫している。	職員の数を生かし、多くの経験を積めるような活動内容を提案していく。
2	ミーティングや共有ノートを通して、情報共有を密にしている。	個々の困り事や様子の変化など、支援に関わる情報を職員間で頻繁に共有することで、共通認識で支援を行えるようにしている。	小さな気づきも発信することができるような仕組みづくりをしていく。
3	言語聴覚士と共に様々な課題を用意し、個々の発達に即した支援を行っている。	手指を使ったものなどの個別のプログラム(課題)を通して、発達を促している。	成長に合わせて課題を今後もアップデートしていく事で、様々な取り組みができるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との繋がりが希薄である。	地域と関わる行事等を開催、参加していないため。	散歩や公園での遊びを通して、地域住民と交流する機会を意識して作っていく。
2	保護者同士が繋がる機会がない。	事業所のイベントや保護者会を開催していないため。	意見交換をする場を設けていく事で、関わる機会を作っていく。
3			